



Kentaro Press 憲太郎プレス

未来への責任・・・ふるさと創生！

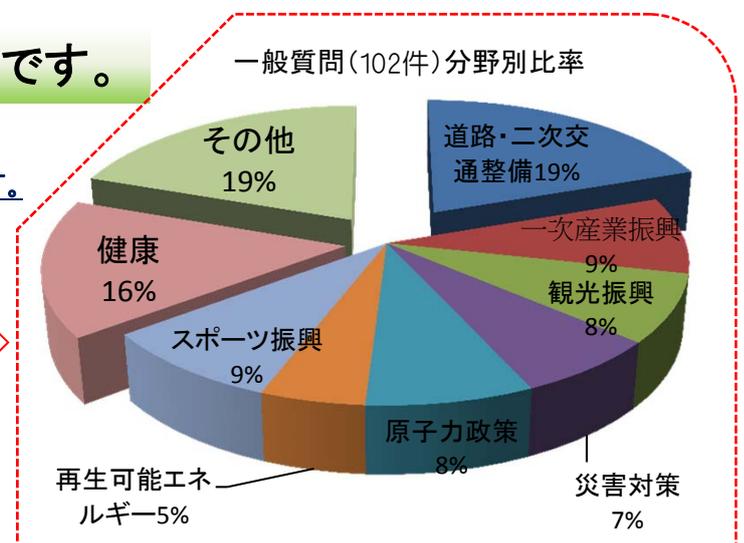
我が国は本格的な「人口減少時代」に突入しています。このまま対策を講じなければ25年後には人口の1/4が減少すると言われていています。また、日本創成会議の試算では、若年女性の減少によって、人口減少は更に加速し、将来、消滅する自治体が出てくる可能性があるとしています。むつ下北もその対象自治体に含まれています。もう憂慮している時間は有りません。人口が加速度的に減少していくことによって、地場産業育成も雇用創出も打つ手を失う可能性があります。早急に人口減少緩和対策に着手しなければなりません。適正な規模の人口を維持し、豊かな生活を営める“持続可能なむつ下北”を目指さす必要があります。それが、未来への責任と考えます。

質問回数の多さが課題の大きさです。

県議会議員一期目、4年間の質問回数12回。
一般質問分野別の内訳は右グラフのとおりです。

会議	回数
一般質問	5
原子力・エネルギー対策 特別委員会質疑	3
予算・決算委員会質疑等	4

102件



一般質問での質問数は102件。分野は道路整備などのライフラインから健康・スポーツ振興まで多岐に渡っています。また、その他の質問内容としては、若年者の就職支援・情報公開・空き家対策・教育環境整備・学校のトイレ水洗化・子育て支援などとなっています。

この4年間で見てきた事があります！

① むつ下北の成長スタイルをイメージしましょう。

持続可能なむつ下北は、健康寿命の増進と若い女性の定着するまちづくりが大切。弱者に手厚い施策が、地域を強くする。東日本大震災によって気づかされた新たな価値観と、身の丈に合った適正成長プログラムにより、未来のふるさとをイメージしましょう。

② むつ下北の潜在力を意識しましょう。

三方海に囲まれたむつ下北の強みは、山海の新鮮な食材と風光明媚な自然の恵みです。これは十分に戦える素材であることを意識しましょう。地場の産品で勝負をする底力を発揮し、むつ下北ならではの産業を創出することを考えましょう。

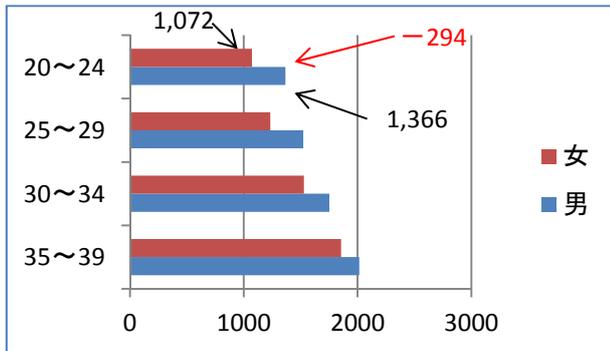
③ 政治への信頼回復により地方創生を進めましょう。

国政選挙投票率、2年連続全国最下位の本県。原因は、政治への不信感とそれに関わる地域づくりからの疎外感。住民の夢と希望を託せる政治へと信頼を取り戻すことにより、有権者の責任行使の意識を高め、共にふるさと創生を現実的なものにしましょう。 —討議資料—

ゴーイングふるさと創生 ストップ・ザ人口減少

ふるさと は若い女性の故郷定着率で決まる!!

日本創成会議の試算による「消滅自治体」の根拠は、若い女性の減少にあります。因みにむつ市では本年2月末時点で、20歳～24歳までの女性が同年代の男性より294人少ない状況にあります。しかも、この年代の流出人口は、男性の157人に対して、女性は425人となっており、出産適齢期の若い女性が、ふるさとを去っていることとなります。これは由々しき問題であります。持続可能なふるさとを目指すために、若い女性を定着させることが出来る、魅力あるむつ下北を創りましょう。



むつ市の人口動向

平成27年2月28日現在(むつ市統計資料) 単位:人

年齢	男	年代差	女	年代差	男女差
35～39	2015	263	1855	326	-160
30～34	1752	229	1529	296	-223
25～29	1523	157	1233	161	-290
20～24	1366	-157	1072	-425	-294
15～19	1523		1497		-26

人は生まれてくる時代も場所も選べませんが、この下北に生まれ育ったことの宿命さは必然と同じです。共に未来のために、故郷をよくしましょう！

1. 健康生活・安心子育て・快適環境・賑わい地域。

- ◎ 食を通じた健康づくりを広げましょう。(減塩・だしの活用・野菜ソムリエ)
- ◎ 健康意識の醸成と家庭生活習慣改善により、児童生徒の肥満を解消しましょう。
- ◎ 道や川などの公共土木施設を利用した、子供たちも遊べる健康的な公園(健康公共)の整備を進めましょう。

2. 信頼医療・生活改善・自然の癒し力で健康観光誘客。

- ◎ むつ下北地域医療の充実と医療サービスの向上を実現しましょう。
- ◎ 先端医療と自然セラピーで人間性復興、健康増進プログラムで誘客を進めましょう。
- ◎ 生涯学習講座等の実施を目指しましょう。
- ◎ 生活習慣改善教室、健康体操、介護予防・健康寿命を伸ばしましょう。
- ◎ 地元から医師等の人材を発掘助成し、信頼される地域医療の確立を目指しましょう。

3. 食材魅力・地場産業育成・販路拡大・観光ビジネス。

- ◎ 暮らしを支える地場産業を育成し、雇用の場を創出しましょう。
- ◎ 食の魅力を生み出し、発信により地産地消、観光者の誘客につなげましょう。
- ◎ 食材加工、ブランド化により域外販売、安定収益を目指しましょう。
- ◎ 農山漁村の地域経営の担い手を育成し、未来の人づくりを進めましょう。

4. ライフラインの整備や災害対策・安心防災・安全減災。

- ◎ 地震津波や土砂災害、豪雨や暴風雪などへの災害対策を進めましょう。
- ◎ 地形風土を考慮した避難計画、津軽半島・道南との安全連携を考えましょう。
- ◎ 下北半島縦貫道路、大湊・白糖・二枚橋各バイパス、広域避難路の早期完成を目指しましょう。

5. 生活力と地域力、信頼政治でふるさと創生。

- ◎ 地域の皆さんの意見を十分聞き、県議会に反映させます。
- ◎ 地域の問題・課題の解決のために自治体との橋渡しになります。
- ◎ 未来に向けた住民参加型の地域問題研究会等を立ち上げます。

発行者

菊池憲太郎事務所

〒035-0021 むつ市大字田名部字品ノ木34-68
TEL: 0175-33-8544 FAX: 0175-23-3339
URL: <http://www.kentaro.cm>